

第2期長崎市地域まちづくり計画策定に係る
アンケート調査
報告書〔概要版〕

長崎市

令和7年2月

目次

I 調査概要

(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 調査主体	1
(6) 回収状況	1
(7) 報告書の見方	1
(8) アンケート回収数の信頼性について〈参考〉	1

II 調査結果

1. 回答者の属性	3
(1) 問1 年齢	3
(2) 問2 職業	3
(3) 問3 居住区域	4
(4) 問4 同居者〈世帯構成〉	4
2. 日常生活について	5
(1) 問5 あなたは現在、日々の生活の中で何か悩みや不安に感じることはありますか	5
(2) 問6 あなたは、生活上の悩みや不安を主に誰(どこ)に相談していますか	5
(3) 問7 あなたは、日々の生活に必要な情報を誰(どこ)から入手していますか	6
3. 地域での生活について	6
(1) 問8 「地域での支え合い」の「地域」とは、あなたにとって概ねどの程度の範囲ですか	6
(2) 問9 あなたは、現在、どの程度「ご近所づきあい」をしていますか	7
(3) 問10 あなたは、どの程度の「ご近所づきあい」を理想としますか	7
【近所づきあいの現状と理想】	8
(4) 問11 あなたは、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことはありますか	9
(5) 問12 あなたは、となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることはありますか	9
【手助け・協力してもらいたいこと・できること】	10
4. 地域活動について	11
(1) 問13(1) 長崎市で現在各地域で活動している団体の活動に参加していますか	11
(2) 問13(2) [活動に参加していると答えた方にお聞きします] その理由は何ですか	11
(3) 問13(3) [活動に参加していないと答えた方にお聞きします] その理由は何ですか	12
(4) 問14 あなたは今後、どのような地域での活動に参加したいと思いますか	12
【現在参加している地域活動と今後参加したい地域活動】	13
(5) 問15 どのような環境や条件があれば、地域の活動に参加しやすいと思いますか	14

5. お住いの地域について	-----14
(1) 問16(1) あなたは、お住いの地域に愛着がありますか	-----14
(2) 問16(2) [愛着がある、どちらかという愛着がある] その理由は何ですか	-----15
(3) 問17 あなたが住んでいる地域には、どのような問題や課題がありますか	-----15
(4) 問18(1) 地域として優先して解決すべき問題や課題はどれだと思いますか	-----16
(5) 問18(2) 行政として優先して解決すべき問題や課題はどれだと思いますか	-----16
【地域として優先すべきこと・行政として優先すべきこと】	-----17
(6) 問19 長崎市が提案している「地域コミュニティ連絡協議会」について知っていますか	----18

I 調査概要

(1) 調査目的

第2期みんなで、す〜で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】の策定にあたり、複雑化している地域課題や地域コミュニティに対する市民の考え方を把握・分析し、その結果を計画に反映させるための基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

18歳以上の長崎市民2,000人（無作為抽出）

(3) 調査方法

郵送及び電子申請方式

※調査票は紙媒体で郵送し、回答は紙媒体又は電子申請を選択する

(4) 調査期間

令和6年12月1日から令和7年1月6日（37日間）

(5) 調査主体

長崎市 市民生活部 地域コミュニティ推進室

(6) 回収状況

紙媒体回収：736人、電子申請：228人、合計：964人（回収率：48.2%）

(7) 報告書の見方

ア.調査結果は、回答件数の合計に対する百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、百分率の計が100%にならない場合がある。

イ.基数となる実数はnとして掲載し、その比率は件数を100%として算出した。

ウ.1人の回答者が複数回答を行う設問では、基数となる実数nは回答者数を上回ることがある。

エ.図表の各項目は表示の関係上省略して表示する場合がある。

(8) アンケート回収数の信頼性について〈参考〉

アンケート調査の信頼性を確保するには、対象となる母集団（本調査の場合長崎市の18歳以上の人口）の中から、どの程度の数を調査するかが重要であり、統計学的に必要なサンプルサイズは下記の計算式で算出することができる。

$$n = \frac{\frac{z^2 \times p(1-p)}{e^2}}{1 + \left(\frac{z^2 \times p(1-p)}{e^2 N}\right)}$$

ここで n：必要なサンプル数（人）

N：母集団の規模（人）→対象地域の18歳以上の人口

z：信頼レベル〈Zスコア〉

p：アンケート回収率（%；小数点表記）

e：許容誤差（%；小数点表記）

zは信頼性レベルで、母集団から異なる方法で複数のサンプルを抽出した場合、アンケートの結果がどの程度の確率で一致するかを表すもので、計算式中では「Zスコア」という数値を用いる。

Zスコアは平均値から標準偏差いくつぶん乖離しているか、を表したもので、信頼レベルがそれぞれ
90%→1.65、95%→1.96、99%→2.58

を用いる。(正規分布を仮定)

また、p はアンケート回収率で通常50%程度である。(本調査の実績は48.2%)

e は信頼性レベルの許容誤差であり、当然ながら z が100%に近く e が 0%に近いことがアンケート回答の信頼性を高めることになるが、サンプル数も膨大になる。

実用的には、信頼レベル95%程度、許容誤差3%程度で十分と考えられており、この条件で本調査に必要と思われるサンプル数を試算し、下記の表にまとめた。

表 アンケート調査サンプル数の計算結果

地域区分	※ 18歳以上 人口	アンケートの実績			必要なサンプル数									
		配布数	回収数	回収率	信頼レベル90%			信頼レベル95%			信頼レベル99%			
					誤差7%	誤差5%	誤差3%	誤差7%	誤差5%	誤差3%	誤差7%	誤差5%	誤差3%	
長崎市	335,608	2,000	964	48.2%	139	272	754	196	383	1,062	339	663	1,836	
総合 事務所	中央	239,502	1,268	583	46.0%	138	270	749	195	381	1,056	337	660	1,823
	東	36,138	208	100	48.1%	138	269	740	195	380	1,035	336	652	1,757
	南	31,413	321	148	46.1%	137	268	734	193	377	1,026	334	648	1,736
	北	28,555	203	96	47.3%	137	268	734	194	378	1,026	335	649	1,732

○計算条件は下記の通り

- ・母集団の数：長崎市オープンデータカタログサイト 2024.10.31時点地域・年齢別人口
20歳以上+15～19歳人口×0.2 として計算
※18歳以上の年齢区分データが心材しなかったため、15～19歳の人口のうち、18歳以上は20%程度と仮定した。

- ・アンケート回収率：回収率実績を使用

長崎市全体ではアンケート対象人数は2,000人なので、表の計算結果より、本アンケート調査の信頼レベルは 99%程度で、誤差は 3%未満と評価することができる。

地域(総合事務所)別に見ると、中央総合事務所の所管区域は母集団が大きいので、信頼レベル95%程度で誤差は3%未満と評価できるが、東・南・北総合事務所の所管区域では母集団が小さいために信頼レベルは90～95%、誤差は5%程度となり、地域別の分析を実施する際には、全体に比べ信頼レベルが低いことを考慮に入れておく必要がある。

II 調査結果

1. 回答者の属性

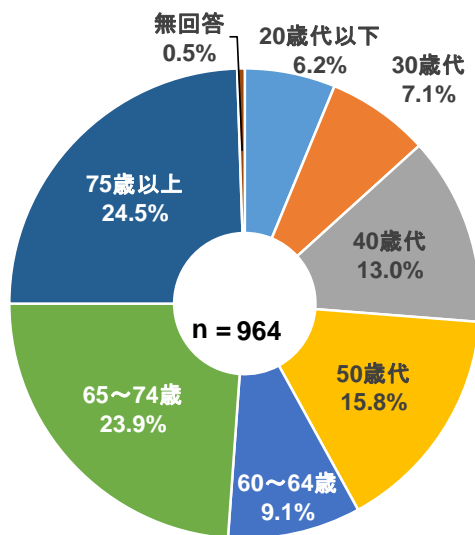
回答者の属性のうち年齢は「75歳以上」が24.5%で最も多く、次いで「65～74歳」が23.9%、「50歳代」が15.8%と続き、50歳以上が約73%を占めており、またWeb回答率(電子申請)は50歳代以下で約50%、20歳代以下では60%以上で、ネット世代の拡大が伺われる。

職業は「無職」が28.9%で最も多く、「会社員」が23.3%、「パート・アルバイト」が14.4%と続いており、Web回答率は、会社員及び公務員が約50%で他の職業に比べ高い傾向にある。

居住区域は「中央東部地区」が13.4%で最も多く、次いで「中央北部地区」が11.9%、「東長崎地区」が8.1%と続き、区域の回答割合と区域の18歳以上の人口比率はほぼ同様の傾向にある。

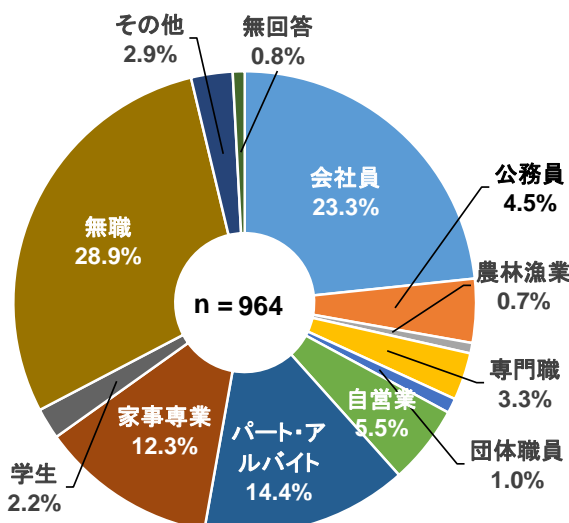
同居者は「配偶者」が43.6%で最も多く、次いで「子ども」が24.7%、「いない」が11.7%と続き、これを世帯構成で区分すると「二世帯世帯」が40.0%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が32.9%、「一人暮らし」が16.3%、「三世帯世帯」が5.6%、「その他」が4.5%となっている。

(1) 問1 年齢



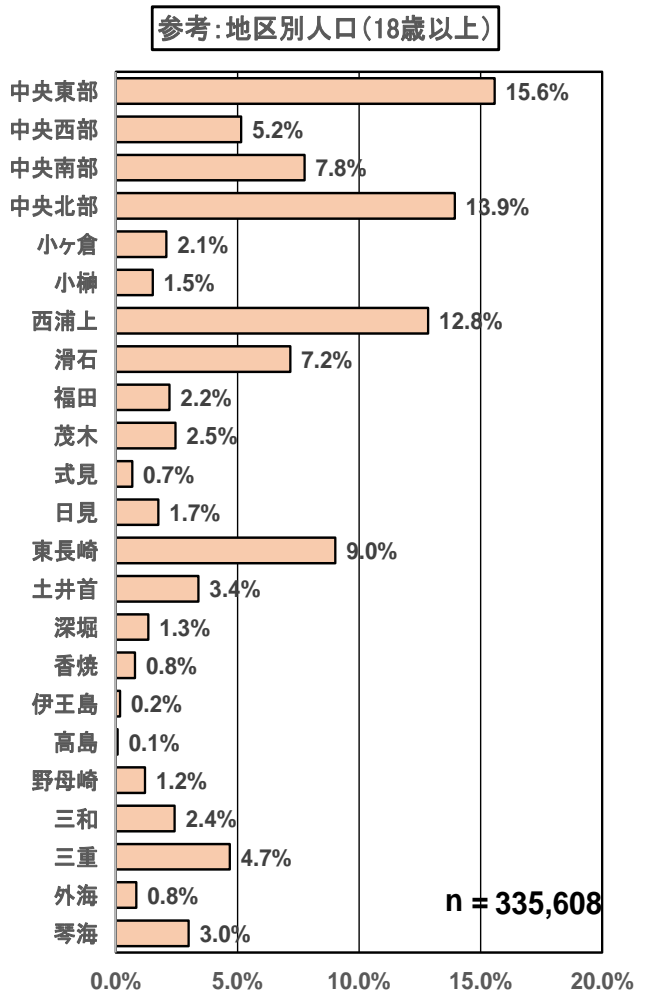
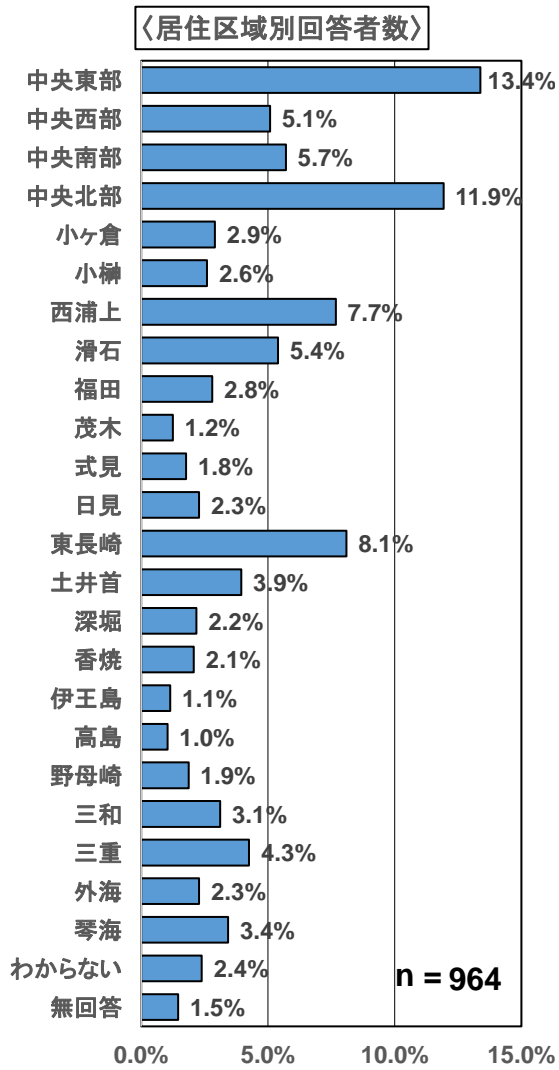
年齢	回答内訳		回答件数
	調査表	Web	
20歳代以下	36.7%	63.3%	60
30歳代	54.4%	45.6%	68
40歳代	48.0%	52.0%	125
50歳代	65.8%	34.2%	152
60～64歳	76.1%	23.9%	88
65～74歳	93.0%	7.0%	230
75歳以上	97.9%	2.1%	236
無回答	100.0%	0.0%	5
合計	76.3%	23.7%	964

(2) 問2 職業



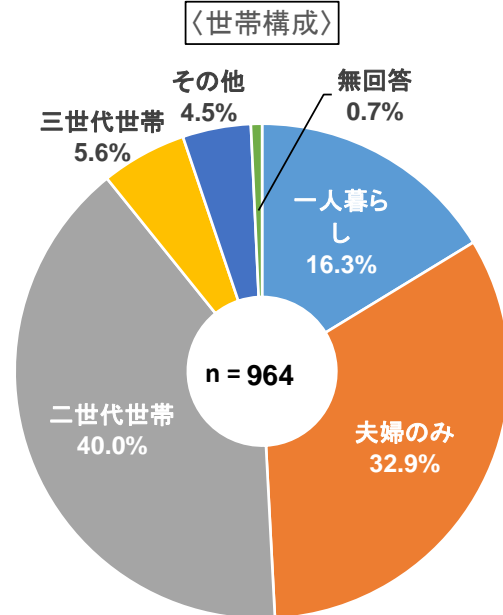
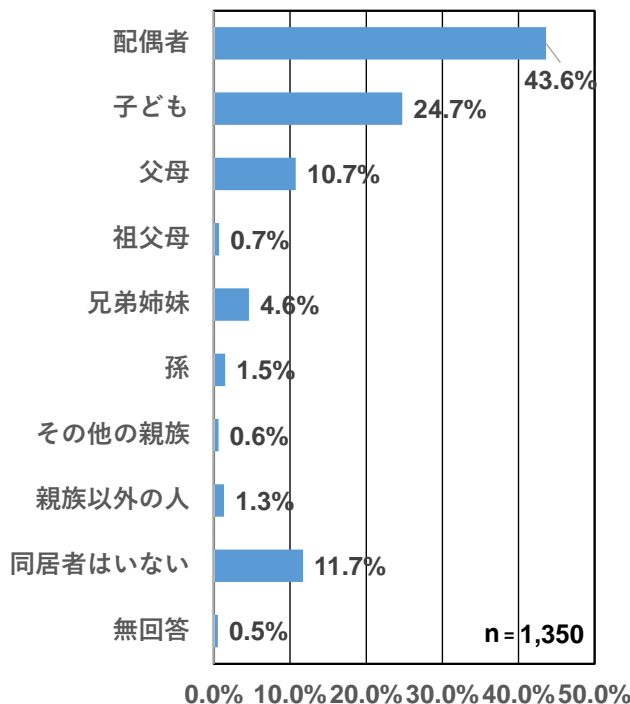
職業	回答内訳		回答件数
	調査表	Web	
会社員	55.6%	44.4%	225
公務員	48.8%	51.2%	43
農林漁業	85.7%	14.3%	7
専門職	56.3%	43.8%	32
団体職員	60.0%	40.0%	10
自営業	81.1%	18.9%	53
パート・アルバイト	79.9%	20.1%	139
家事専業	88.2%	11.8%	119
学生	28.6%	71.4%	21
無職	95.0%	5.0%	279
その他	78.6%	21.4%	28
無回答	100.0%	0.0%	8
合計	76.3%	23.7%	964

(3) 問3 居住区域



※長崎市オープンデータカタログサイト
2024.10.31時点地域・年齢別人口 より

(4) 問4 同居者(世帯構成)

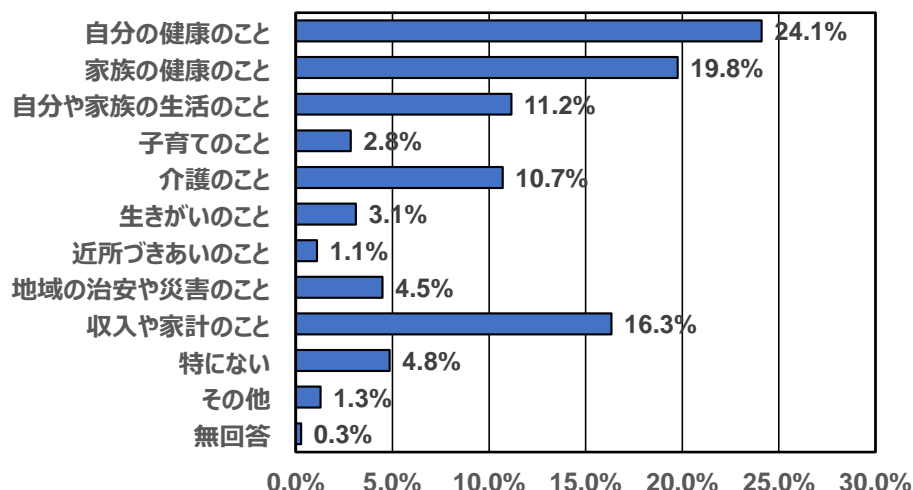


2. 日常生活について

(1) 問5 あなたは現在、日々の生活の中で、何か悩みや不安に感じることはありますか 【あてはまるもの3つまで】

日々の生活の中の悩みや不安は「自分の健康のこと」が24.1%で最も多く、次いで「家族の健康のこと」が19.8%、「収入や家計のこと」が16.3%と続いている。

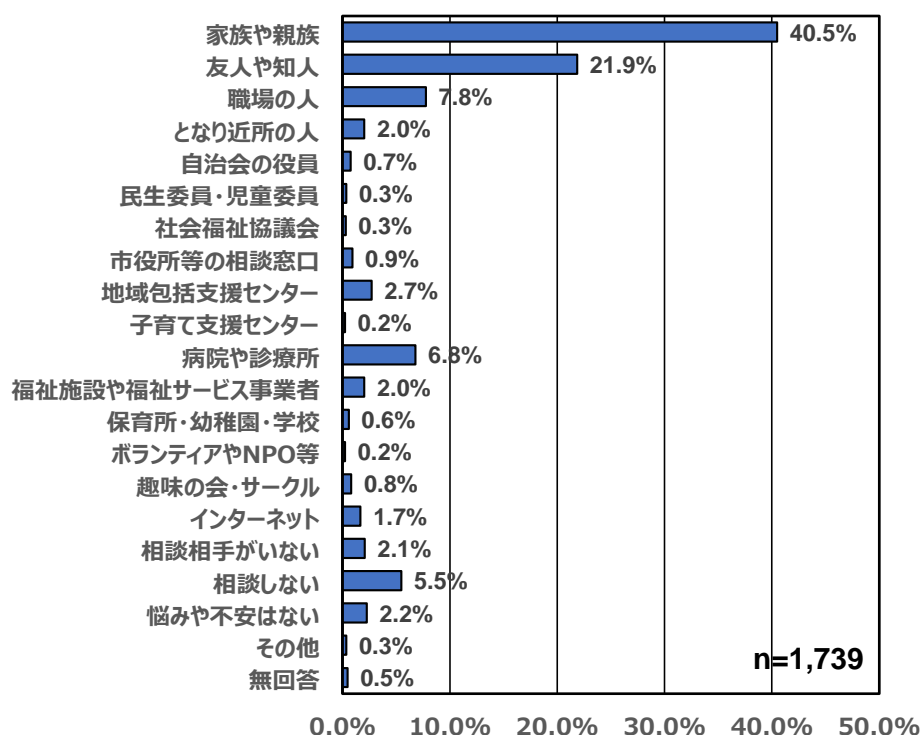
また、「自分や家族の生活のこと」、「介護のこと」がいずれも10%を上回っており、高齢化の進展に伴い、不安や悩みも多様化している傾向にある。



(2) 問6 あなたは、生活上の悩みや不安を主に誰(どこ)に相談していますか 【あてはまるもの全て】

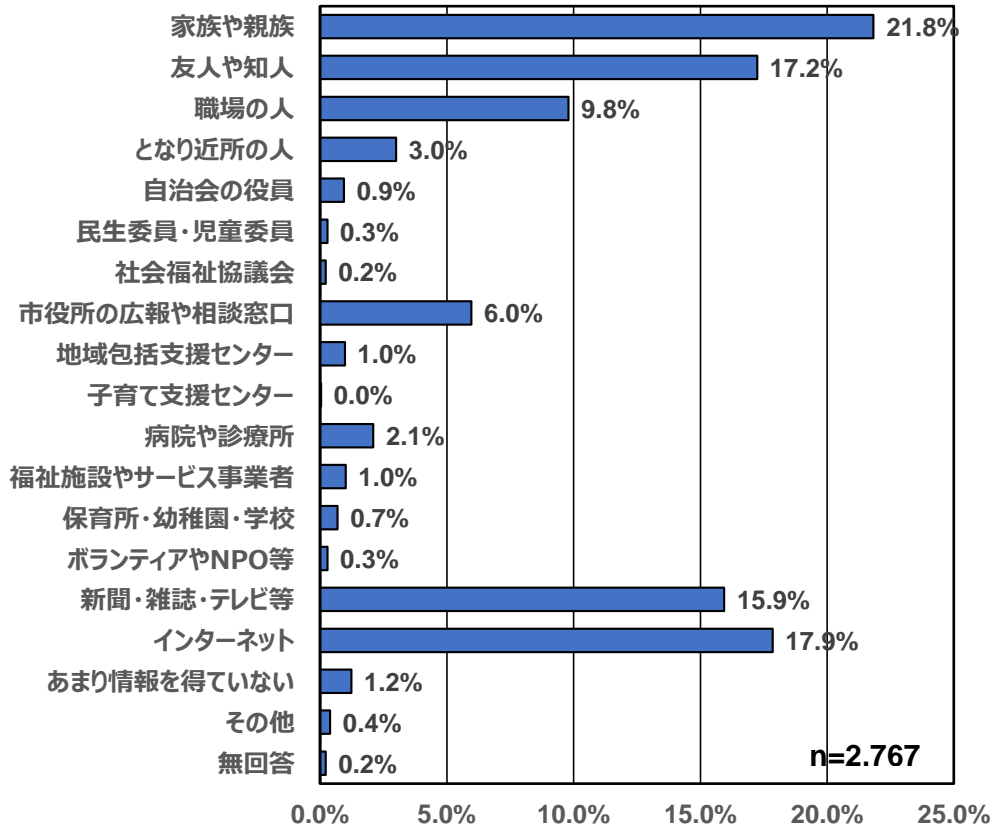
日々の生活の中の悩みや不安の相談相手は「家族や親族」が40.5%で最も多く、次いで「友人や知人」が21.9%、「職場の人」が7.8%と続いている。

一方、「相談相手がない」が2.1%、「相談しない」が5.5%となっている。



(3) 問7 あなたは、日々の生活に必要な情報を誰(どこ)から入手していますか
【あてはまるものすべて】

日々の生活に必要な情報の入手方法は「家族や親族」が21.8%で最も多く、次いで「インターネット」が17.9%、「友人や知人」が17.2%と、「新聞・雑誌・テレビ等」が15.9%と続いている。一方、「あまり情報を得ていない」が1.2%とであった。

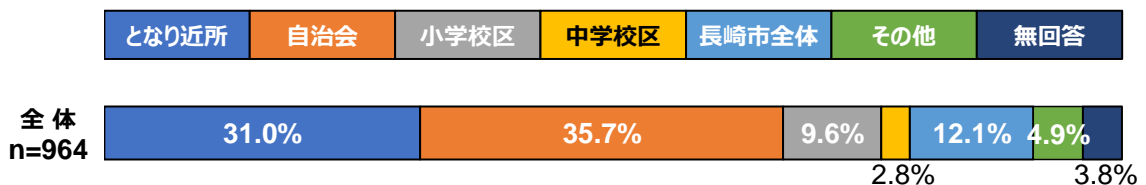


3. 地域での生活について

(1) 問8 「地域での支え合い」の「地域」とは、あなたにとって概ねどの程度の範囲ですか
【答えは1つだけ】

全体では「自治会」が35.7%で最も多く、次いで「となり近所(10世帯程度の身近な集まり)」が31.0%、「長崎市全体」が12.1%と続いている。

支え合える地域として、市民全体の約2/3が、「となり近所」、「自治会」を範囲としてとらえていることがわかる。

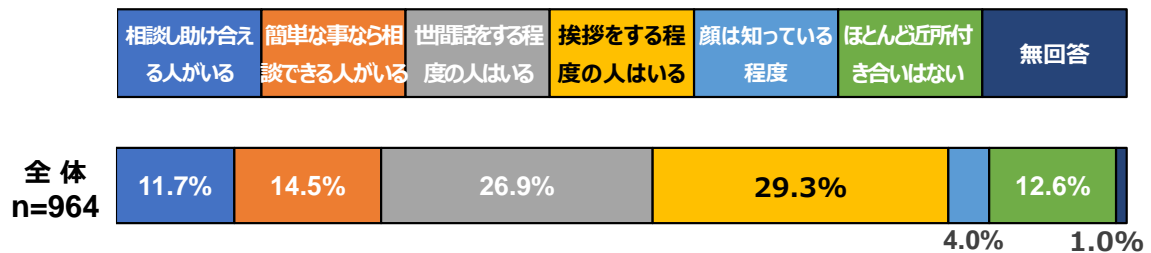


(2) 問9 あなたは、現在、どの程度「ご近所づきあい」をしていますか

【答えは1つだけ】

現状としては、全体で「世間話などはしないがあいさつをする程度の人はいる」が29.3%で最も多く、次いで「助け合いや相談ごとはないが世間話をする程度の人はいる」が26.9%、「簡単なことであれば、困ったときに相談し助け合える人がある」が14.5%で続いており、一方「ほとんど近所づきあいはない」も12.6%であった。

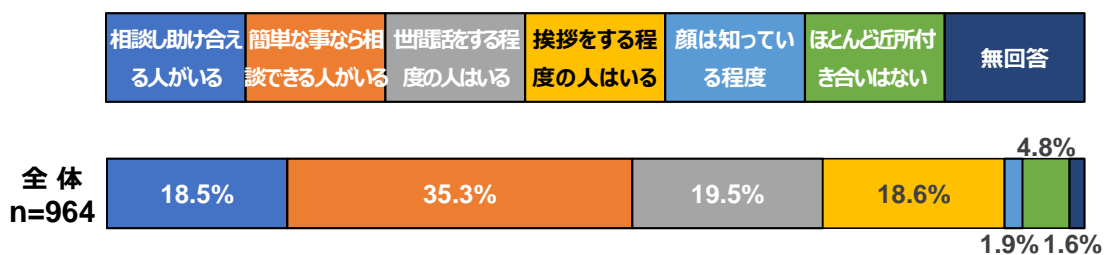
「近所づきあいがある（「何かで困ったときには相談し助け合える人がある」+「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がある）」は26.2%であった。



(3) 問10 あなたは、どの程度の「ご近所づきあい」を理想としますか

【答えは1つだけ】

理想としては、全体で「簡単なことであれば困ったときに相談し助け合える人がある」が35.3%で第1位、次いで「助け合いや相談ごとはないが世間話をする程度の人はいる」が19.5%、「世間話などはしないが、あいさつをする程度の人はいる」が18.6%で続いており、「近所づきあいがある（「何かで困ったときには、相談し、助け合える人がある」+「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がある）」は53.8%であった。



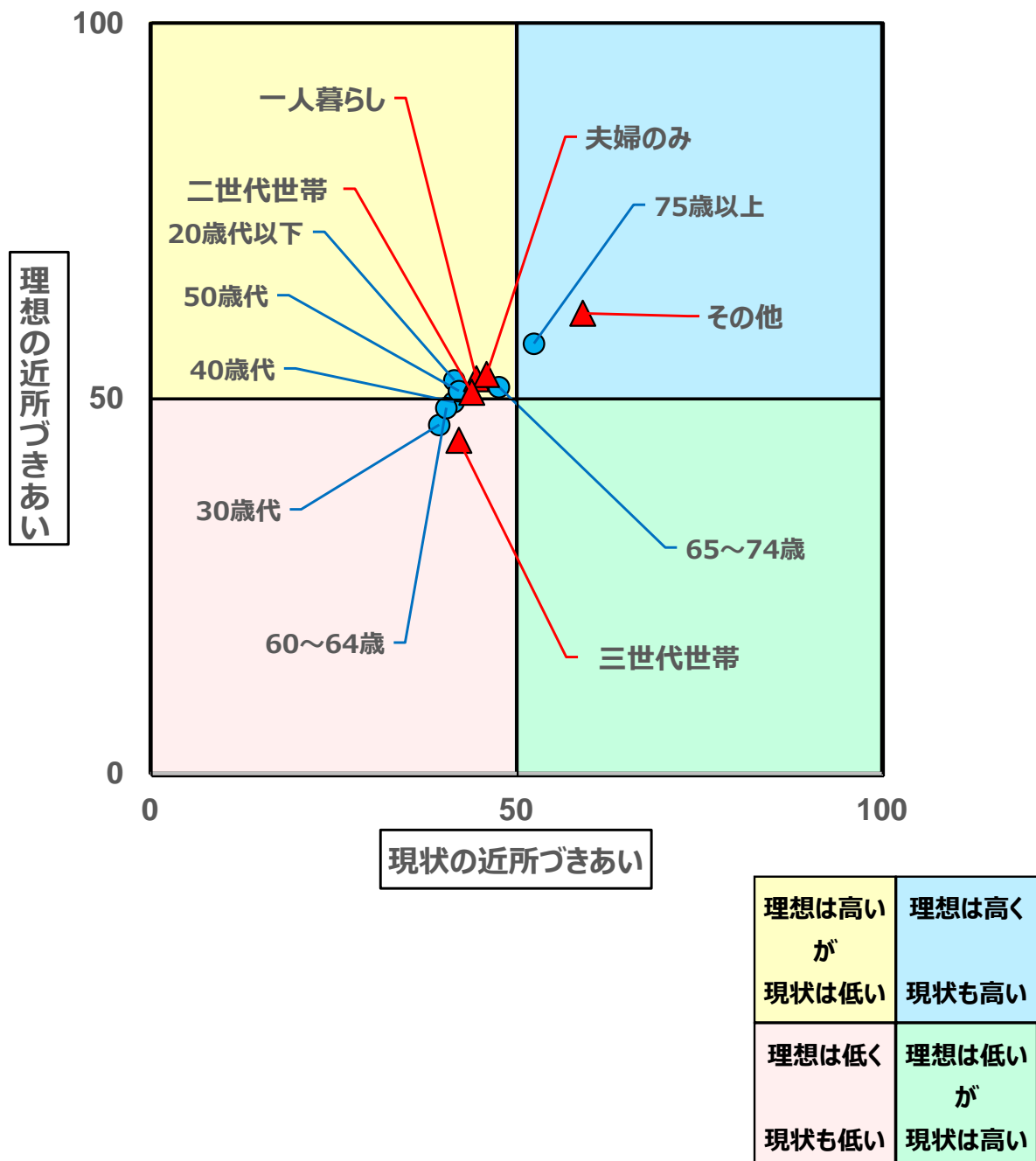
【近所づきあいの現状と理想】

〔年代別・世帯構成別〕

「近所づき合いがある」の現状と理想の関係を偏差値にて図に表すと下記のとおりとなった。
 年齢別にみると「近所づき合いの現状も理想も低い」分野に「30歳代」、「40歳代」、「60～64歳」が入り、「75歳以上」は現状も理想も高い分野である。
 「20歳代以下」と「50歳代」、「65～74歳」は、現状は低いが、理想は少し高くなっている。
 「一人暮らし」、「二世帯世帯」も、現状は低いが、理想は少し高くなっている。
 世帯構成では「三世帯世帯」が理想も現実も低い分野であった。

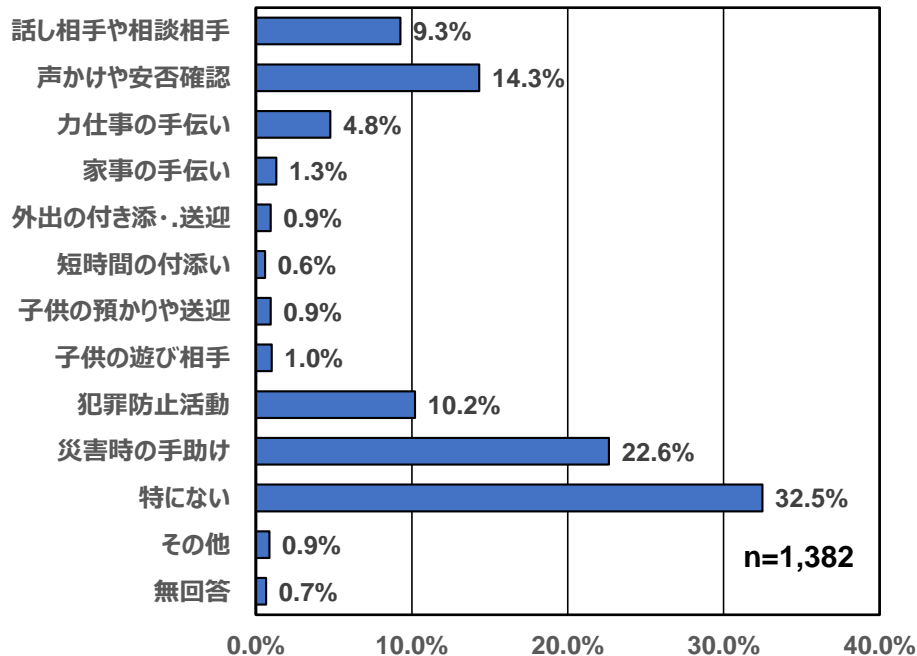
※近所づき合いがある＝「何かで困ったときには、相談し、助け合える人がいる」
 ＋「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がいる」
 で算出している。

近所づきあいの現状と理想



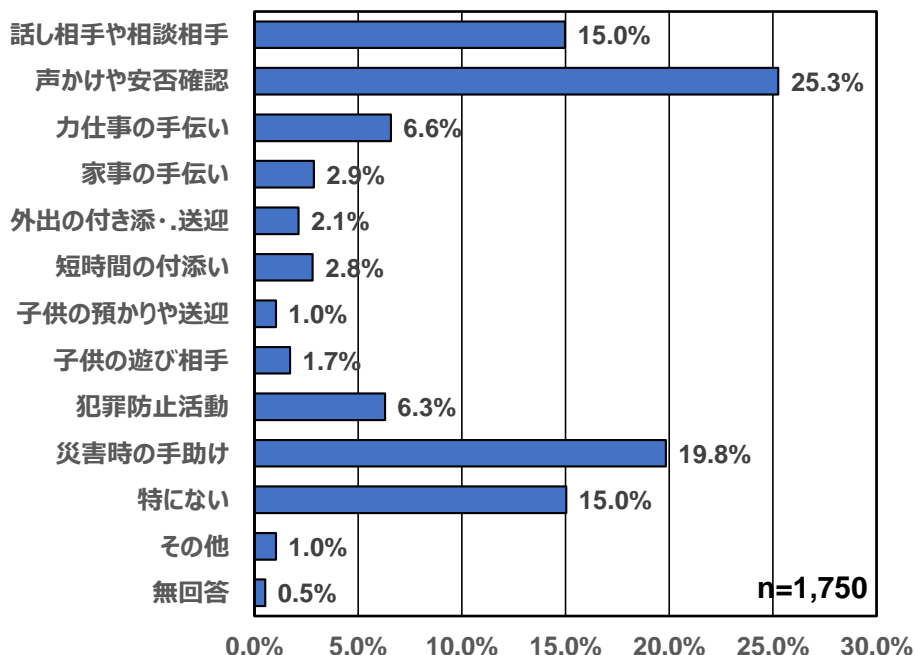
(4) 問11 あなたは生活の中で、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことはありますか
【あてはまるものすべて】

生活の中で、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことは「災害時の手助け」が22.6%で最も多く、次いで「声かけや安否確認」が14.3%、「犯罪防止活動（地域の見回り 等）」が10.2%と続いている一方、「特にない」が32.5%と最も多くなっている。



(5) 問12 あなたは、となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることはありますか
【あてはまるものすべて】

となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることは、「声かけや安否確認」が25.3%で最も多く、次いで「災害時の手助け」が19.8%、「話し相手や相談相手」が15.0%と続いている。一方、「特にない」は15.0%となっている。

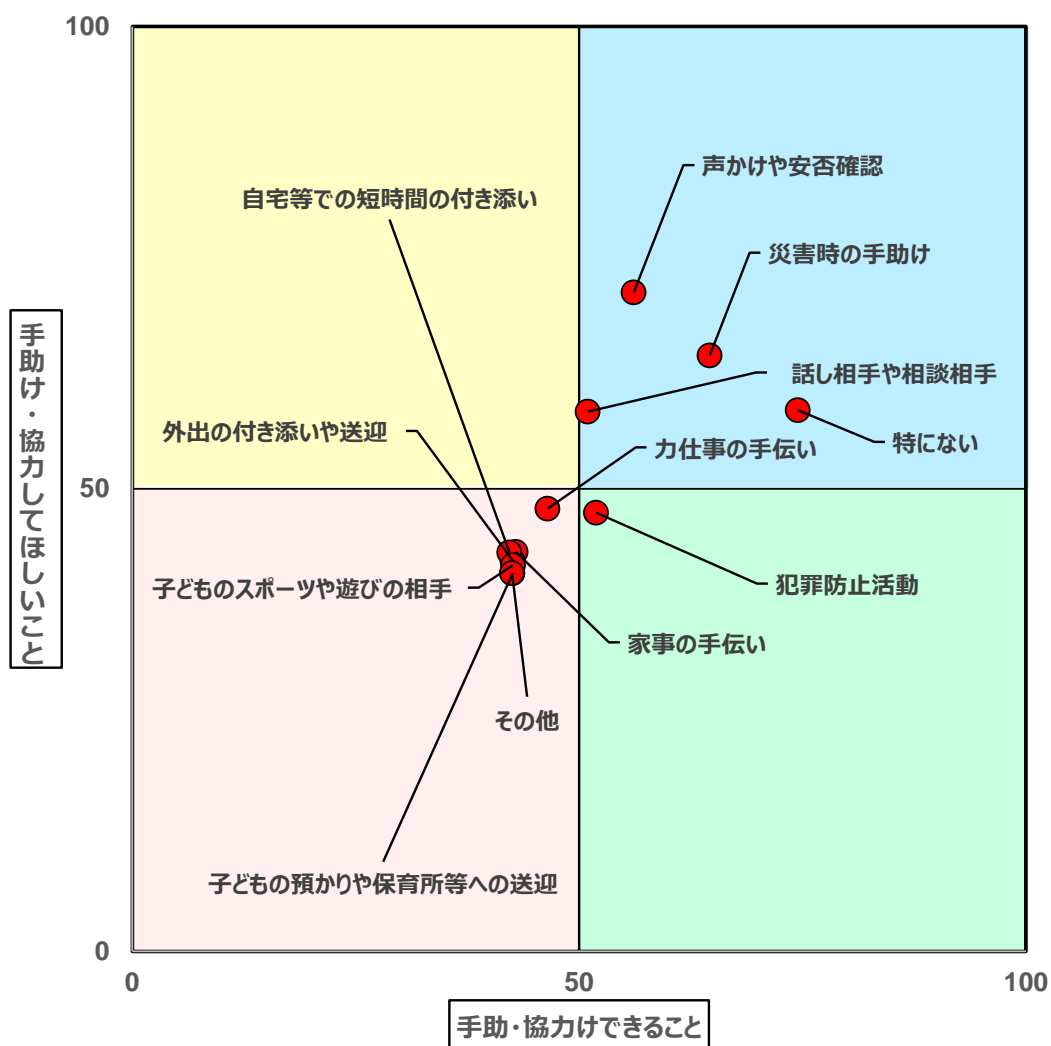


【手助け・協力してもらいたいこと・できること】

手助けしてもらいたいこと・できることを偏差値にて図に表すと下図のとおりとなった。

「手助けをできるし手助けを望むこと」分野に「話し相手や相談相手」、「声かけや安否確認」、「災害時の手助け」が入り、「手助けが難しく手助けも望まないこと」では「力仕事の手伝い」、「家事の手伝い」、「外出の付き添いや送迎」、「自宅等での短時間の付き添い」、「子どもの預かりや保育所等への送迎」、「子どものスポーツや遊びの相手」が入っている。

手助け・協力してほしいことーできること



手助けを望む が 手助けできない	手助けを望み 手助けもできる
手助けは望まず 出助けできない	手助け望まない が 手助けはできる

4. 地域活動について

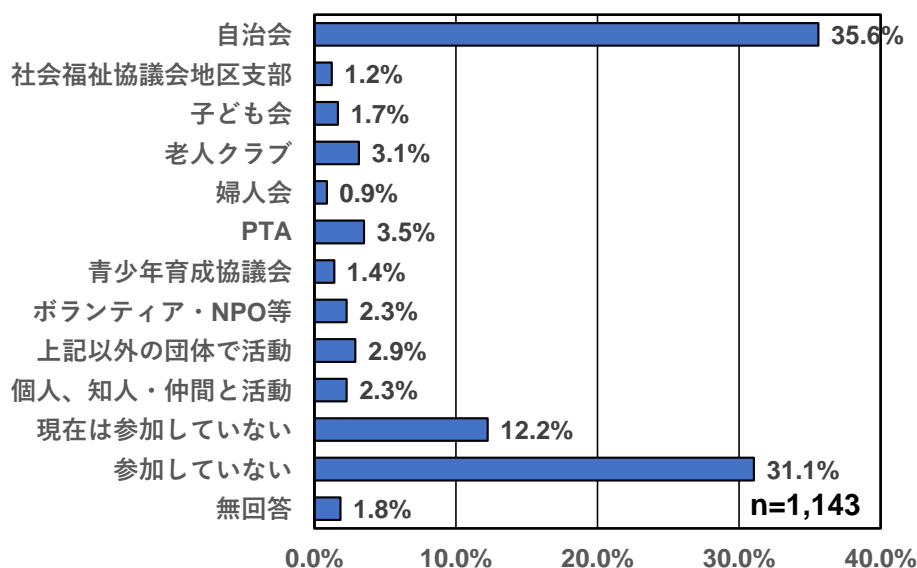
(1) 問13(1) 長崎市では、現在、次のような団体が各地域で活動しています。

あなたは、これらの活動に参加していますか。

【あてはまるものすべて】

参加している活動は「自治会」が35.6%で最も多く、次いで「PTA」が3.5%、「老人クラブ」が3.1%と続いている。

「参加していない」の31.1%と「以前参加していたが、現在は参加していない」の12.2%と無回答の1.8%をあわせた45.1%が現在活動に参加していないということになり、これを差し引くと、何らかの活動に参加している人は54.9%となる。

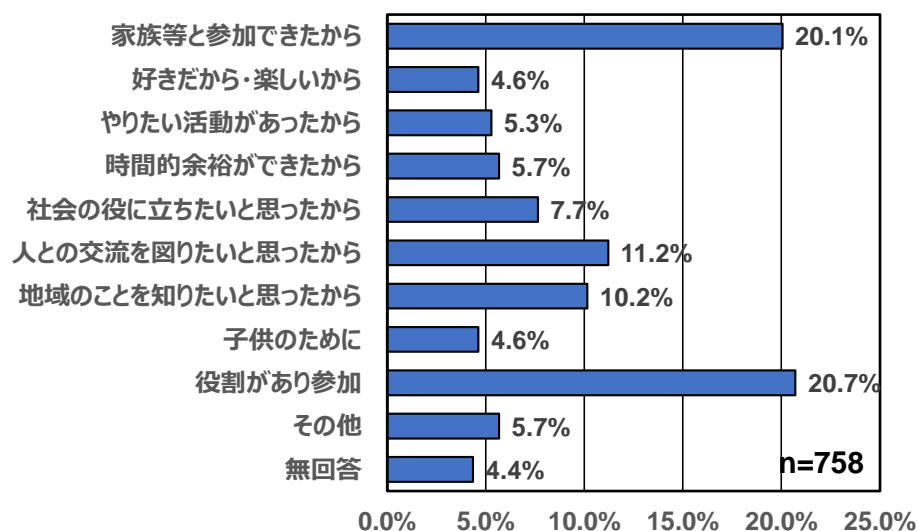


(2) 問13(2) [活動に参加していると答えた方にお聞きします] その理由は何ですか

【あてはまるものすべて】

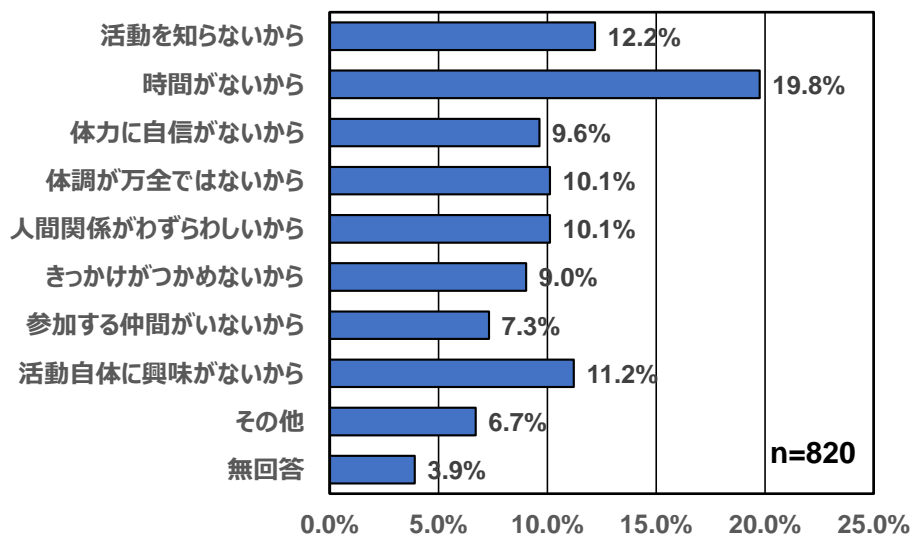
地域活動に参加している理由は、「役割があり参加している」が第1位、「家族等と参加できたから」が第2位であった。

一方、積極的な参加理由としては、「人との交流を図りたいから」、「地域のことを知りたいと思ったから」がそれぞれ10%以上の結果となっている。



(3) 問13(3) [活動に参加していないと答えた方にお聞きします] その理由は何ですか
【あてはまるものすべて】

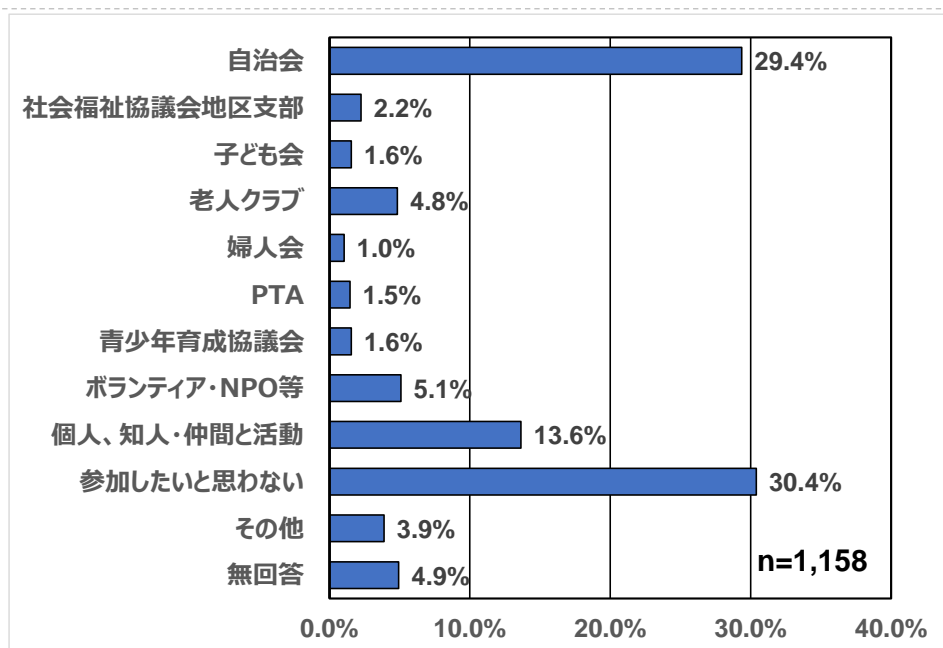
活動に参加していない理由は「時間がないから」が19.8%で最も多く、次いで「活動を知らないから」が12.2%、「活動自体に興味がないから」が11.2%と続いている。



(4) 問14 あなたは、今後、どのような地域での活動に参加したいと思いますか
【あてはまるものすべて】

今後参加したい活動は「自治会」が29.4%で最も多く、次いで「個人、知人・仲間と活動したい」が13.6%、「ボランティア・NPO等」が5.1%と続いている。

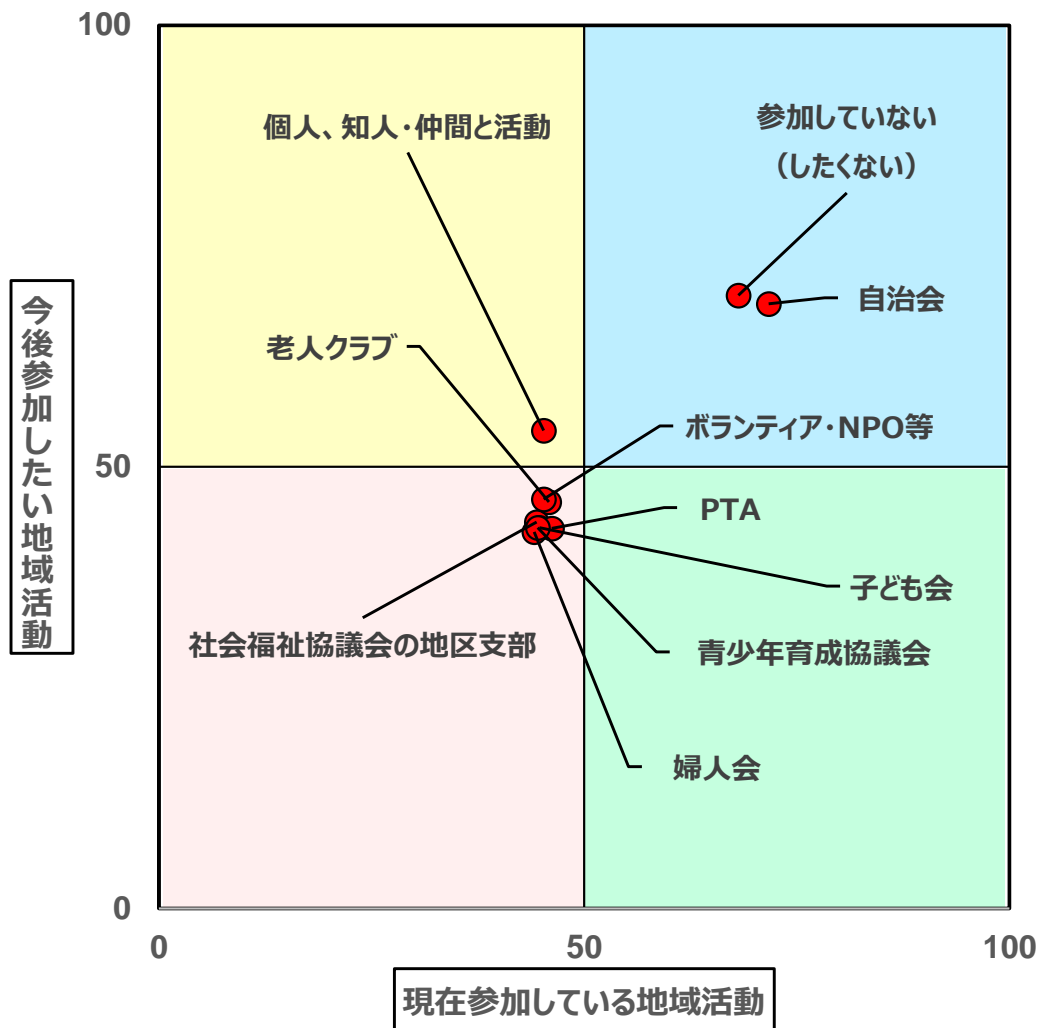
一方、「参加したいとは思わない」は30.4%となっており、無回答の4.9%をあわせた35.3%を差し引くと、今後何らかの活動に参加したい（続けていきたい）人は64.7%となる。



現在参加している地域活動と今後参加したい地域活動】

現在参加している地域活動と参加したいと思う地域活動を「上記以外の団体」を除き偏差値にて図に表すと下図のとおりとなった。
 「現在参加しており、今後も参加したいと思う活動」の分野は「自治会」のみとなっている。
 なお「参加していない（今後参加したいと思わない）」も「自治会」と同程度の偏差値となっている。

参加している地域活動と今後参加したい地域活動

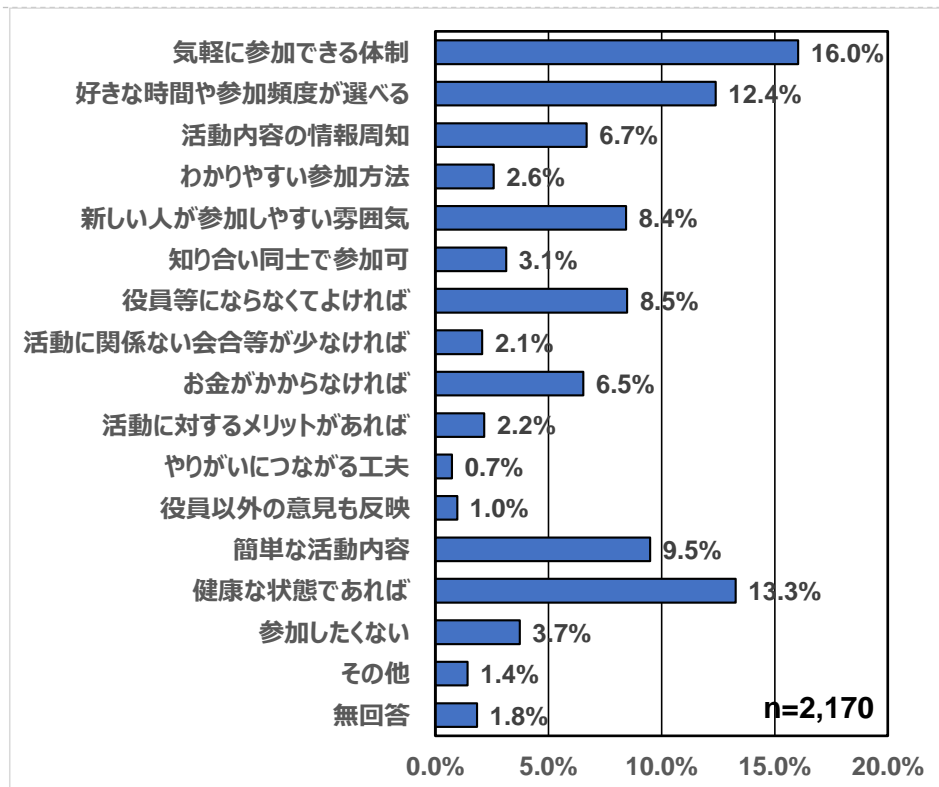


現在参加していないが今後参加したい	現在参加しており今後も参加したい
現在参加しておらず今後参加したいと思わない	現在参加しているが今後参加したいと思わない

(5) 問15 どのような環境や条件があれば、地域の活動に参加しやすいと思いますか
【あてはまるもの3つまで】

どのような環境や条件があれば、地域の活動に参加しやすいかは「気軽に参加できる体制があれば（会員制にしない等）」が16.0%で最も多く、次いで「健康な状態であれば」が13.3%、「好きな時間や参加頻度が選べれば」が12.4%と続いている。

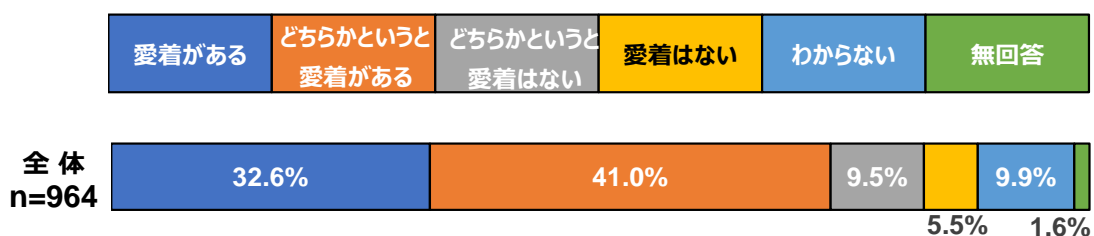
一方、「どのような環境や条件が整っても参加したくない」は3.7%となっている。



5. お住いの地域について

(1) 問16(1) あなたは、お住まいの地域に愛着がありますか
【答えは1つ】

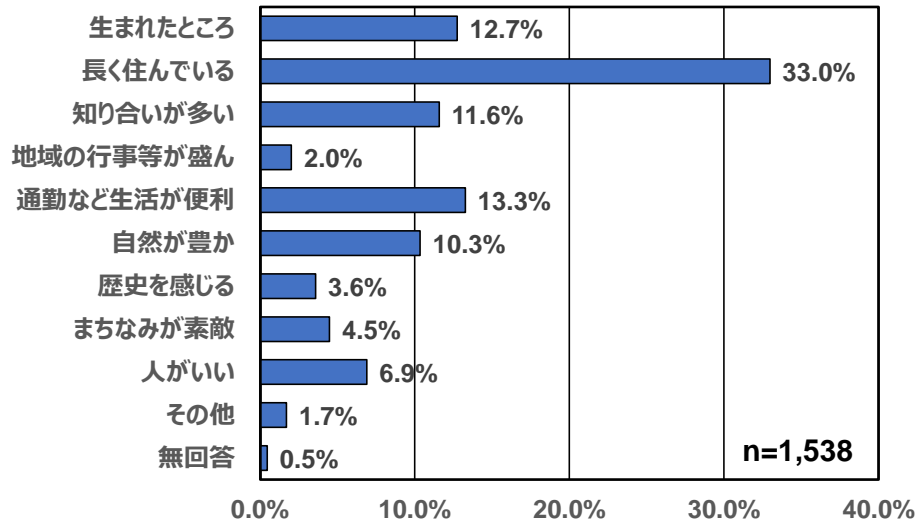
全体では「どちらかという愛着がある」が41.0%で最も多く、次いで「愛着がある」が32.6%、「わからない」が9.9%と続いている。また、「愛着を持っている（「愛着がある」+「どちらかという愛着がある」）」と回答したのは73.6%であった。



(2) 問16(2) [愛着がある、どちらかというとな愛着があると答えた方にお聞きます] その理由は何ですか

【あてはまるものすべて】

「愛着を持っている」理由は「長く住んでいるから」が 33.0%で最も多く、次いで「通学、通勤、買い物など生活が便利だから」が 13.3%、「生まれたところだから」が 12.7%で続いている。

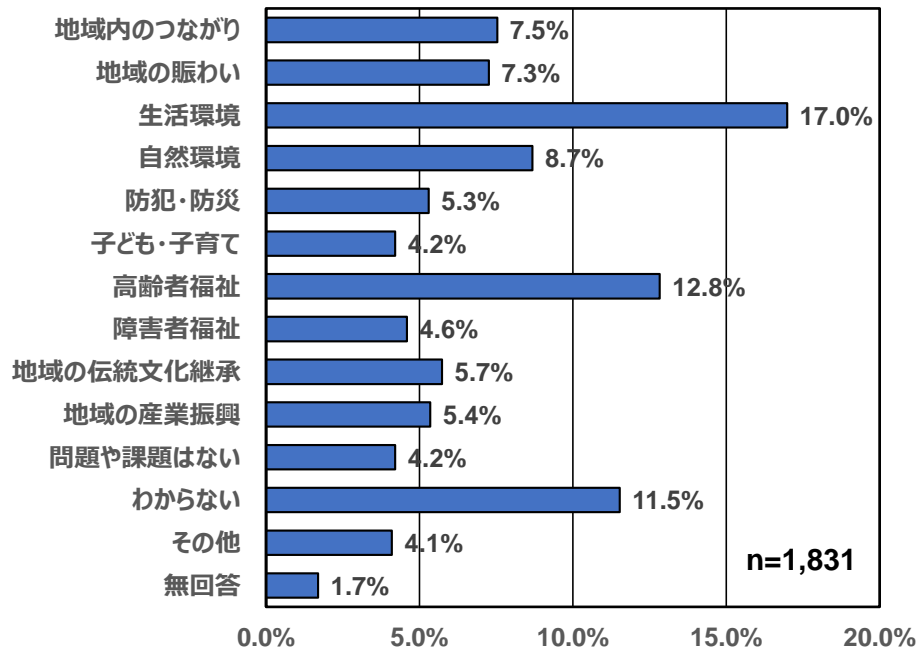


(3) 問17 あなたが住んでいる地域には、どのような問題や課題がありますか

【あてはまるものすべて】

住んでいる地域の問題や課題は「生活環境に関すること」が 17.0%で最も多く、次いで「高齢者福祉に関すること」が 12.8%、「自然環境に関すること」が 8.7%で続いている。

一方、「わからない」が 11.5%、「課題や問題はない」が 4.2%となっている。

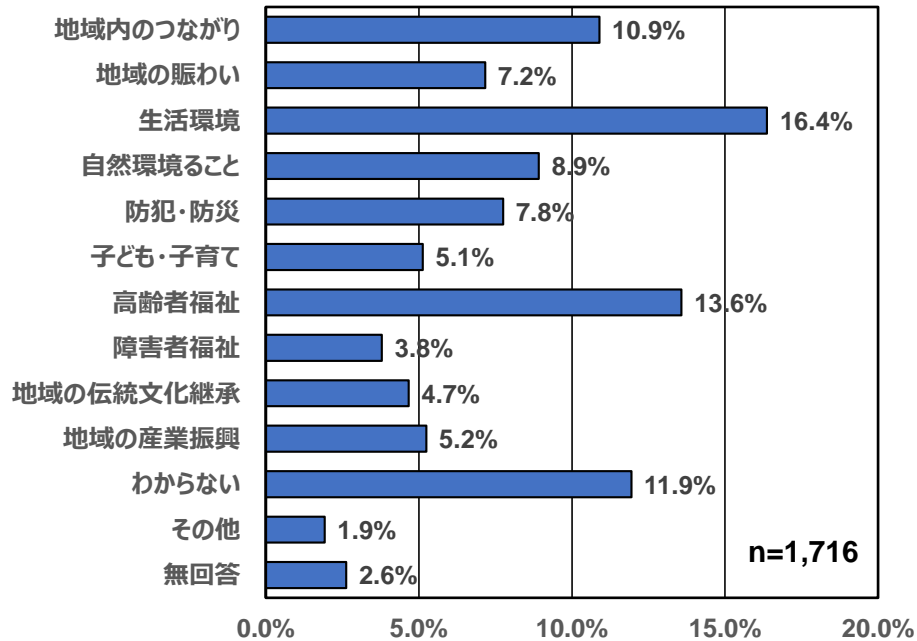


(4) 問18(1) 地域として優先して解決に力を入れていくべきことはどれだと思いますか

【答えは3つまで】

地域として優先して解決に力を入れていくべきことは「生活環境に関すること」が16.4%で最も多く、次いで「高齢者福祉に関すること」が13.6%、「地域内のつながりに関すること」が10.9%で続いている。

一方、「わからない」が11.9%となっている。

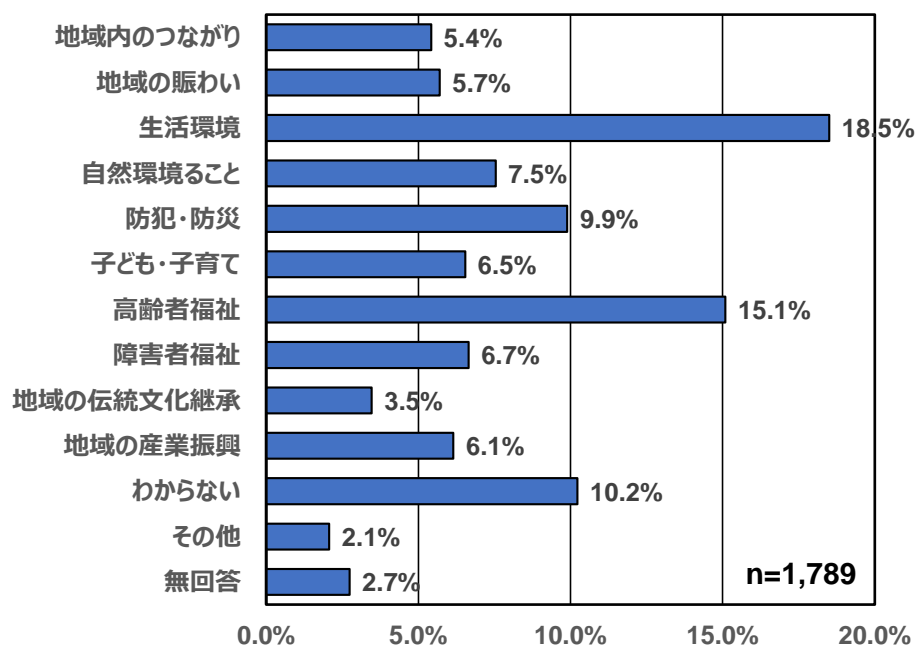


(5) 問18(2) 行政として優先して解決に力を入れていくべき問題や課題はどれだと思いますか

【答えは3つまで】

行政として優先すべきことは「生活環境に関すること」が18.5%で最も多く、次いで「高齢者福祉に関すること」が15.1%、「防犯・防災に関すること」が9.9%で続いている。

一方、「わからない」が10.2%となっている。

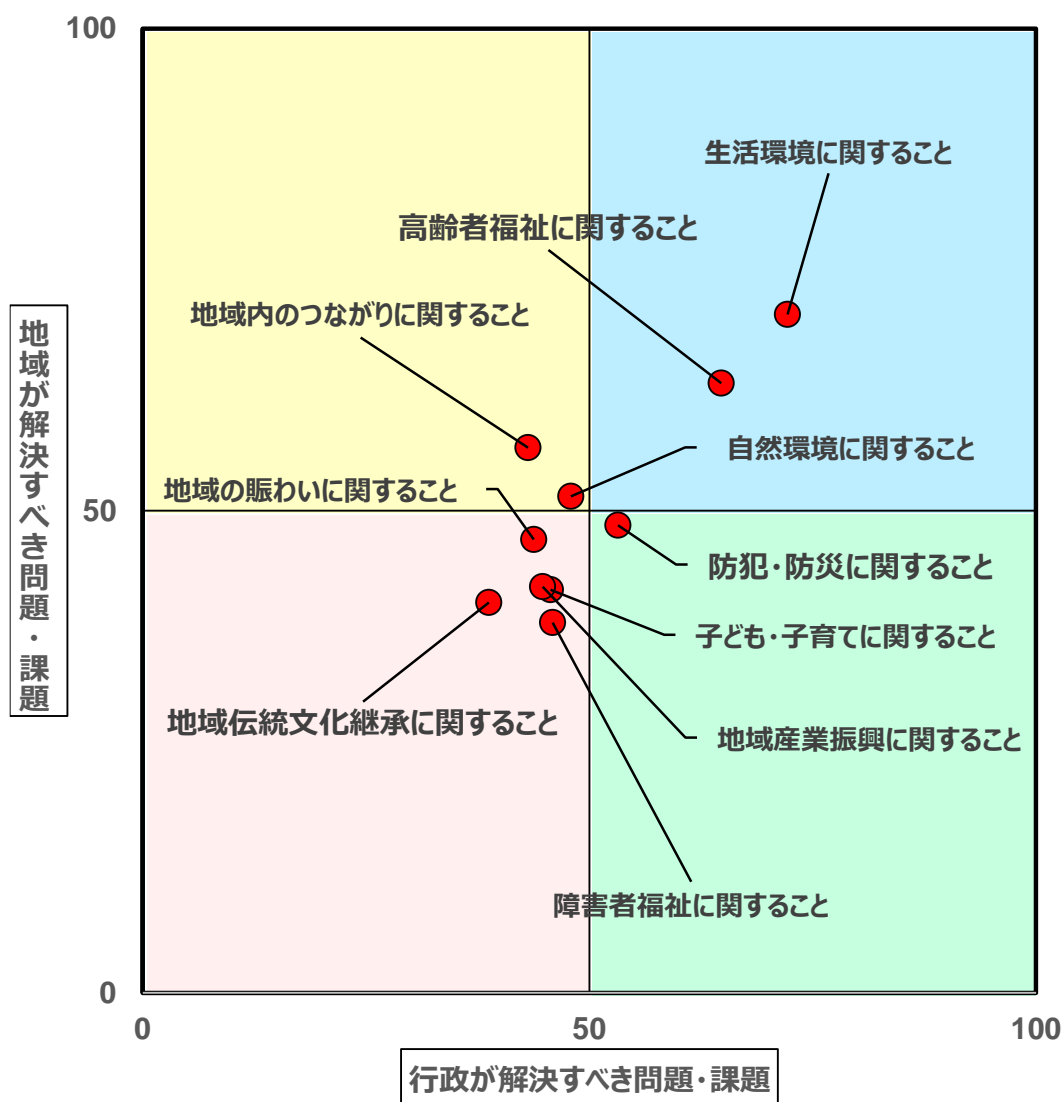


【地域として優先すべきこと・行政として優先すべきこと】

地域が優先して解決すべき課題と、行政が優先して解決すべき課題を、「わからない」、「その他」を除き、偏差値地にて示すと、下図の通りとなった。

「生活環境に関すること」と「高齢者福祉に関すること」は、地域も行政もともに優先して解決すべき課題と位置付けられ、「地域内のつながりに関すること」、「自然環境に関すること」は地域が優先して、「防犯・防災に関すること」は行政が優先して解決に取り組むべき課題とされている。

地域・行政が優先して解決に力を入れるべきこと



地域が優先して取り組むべき解決課題	地域・行政の双方で優先すべき解決課題
地域or行政どちらの役割か不明瞭	行政が優先して取り組むべき解決課題

(6) 問19 長崎市が提案している「地域コミュニティ連絡協議会」について知っていますか

【答えは1つだけ】

全体では「聞いたこともなく、まったく知らない」が51.0%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、あまり知らない」が33.5%、「ある程度知っている」9.3%と続いており、理解度（「よく知っている」+「ある程度知っている」）は12.2%、認知度（「よく知っている」+「ある程度知っている」+「聞いたことはあるが、あまり知らない」）は45.7%であった。

ア. 全体



